

公益社団法人日本水環境学会
地域水環境行政研究委員会

2025年度地域水環境行政研究委員会優秀発表賞

受賞者:

横山智子 (千葉県環境研究センター)

星野武司 (千葉県環境研究センター)

高津文人 (国立環境研究所)

発表演題:

既存インフラとグリーンインフラの活用による栄養塩削減効果の
検討

発表概要:

気候変動に関連した降雨量変化による面源負荷(市街地、農地等)の増加リスクが指摘されているが、流出水の効率的な集水、処理は難しい。本研究では、富栄養湖である印旛沼流域を対象に、雨水調整池(既存インフラ)と再湿地化した谷津の耕作放棄水田(グリーンインフラ)で栄養塩削減効果を検討した。その結果、平水時における調整池の硝化機能や再生湿地の脱窒機能、降雨時における再生湿地の栄養塩削減と限界等が明らかになった。本結果は、既存インフラとグリーンインフラ双方の特徴を生かした面源からの栄養塩削減の可能性を示した。